

学びの質を高める

家庭学習自指導

自学ノートを活用した家庭学習習慣定着の取り組みが
 広まっていることもあり、

ベネッセ教育総合研究所「第2回 放課後の生活時間調査」(下図)によると、

中学生の家庭学習時間は増えている。一方、先生方からは、

「自学ノートのページを埋めることに注力してしまう生徒もいる」

「時間の掛かる難問への挑戦を避ける傾向が見られる」

といった声も聞かれた。

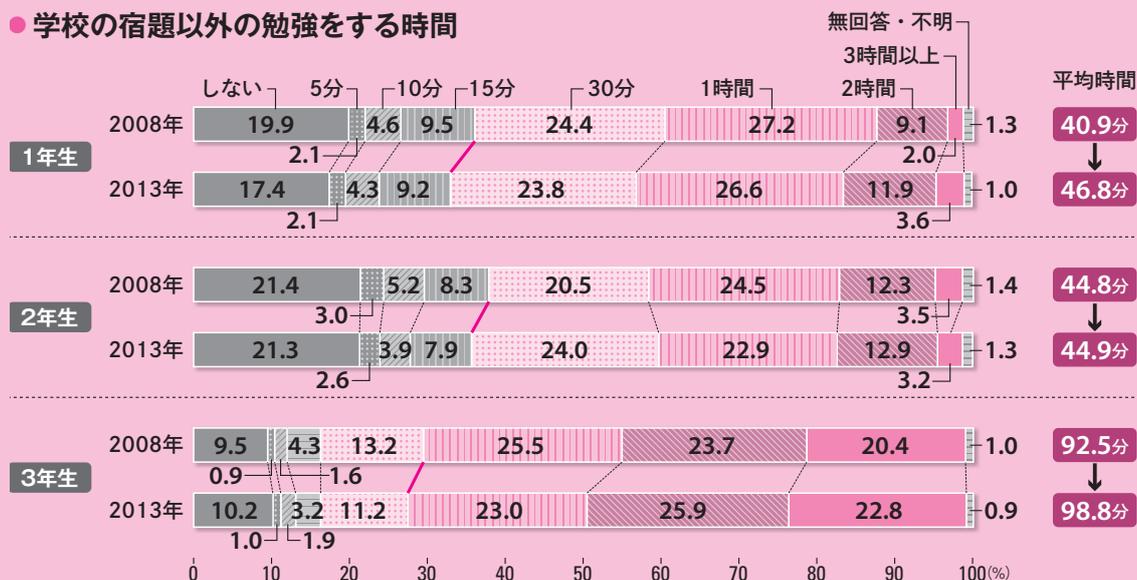
家庭学習を学力向上に結び付く質の高いものにするには

どのような指導をすればよいのか。

研究者へのインタビューと学校事例から考えていく。

家庭学習の平均時間は増加傾向

● 学校の宿題以外の勉強をする時間



注1) 「3時間以上」は、「3時間」～「4時間より多い」の%

注2) 平均時間は、「しない」を0分、「4時間」を240分、「4時間より多い」を300分のように置き換えて、無回答・不明を除いて算出した

出典/ベネッセ教育総合研究所「第2回 放課後の生活時間調査」(2013年11月実施。全国の小学5年生～高校3年生合計8,100人。うち中学生の有効回答数は3,282人)